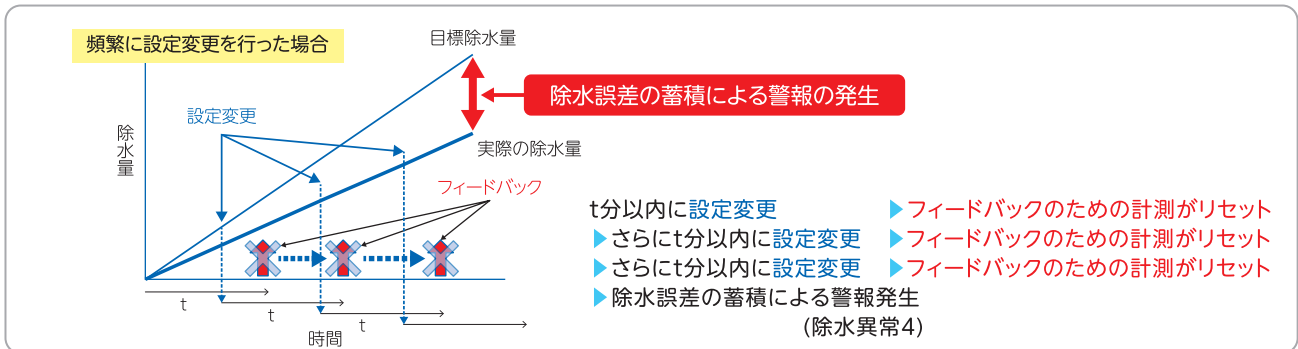
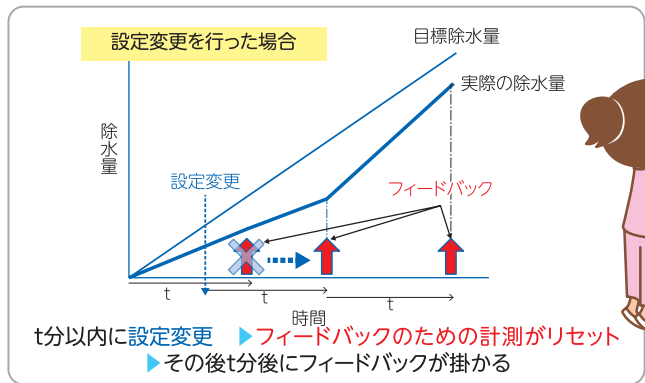
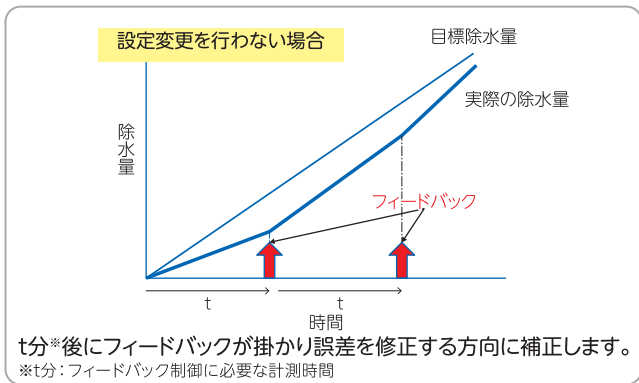


ACH-Σ[®] Plus、ACH-Σ[®]の設定変更について

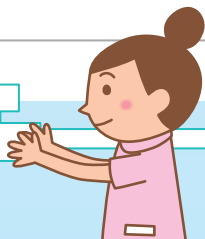
装置は、回路・ポンプなどハードウェア因による誤差を含む除水量を目標除水量に近付けるようフィードバック制御を行います。しかし、除水計測中に設定を変えた場合や3連ポンプが停止された場合は、計測がリセットされるため、フィードバックが十分に掛からず、結果として誤差を低減できなくなります。



装置が操作できない時 返血方法【ACH-Σ[®] Plus、ACH-Σ[®]】

万一、装置の故障等で操作が不能になった場合は、下記の方法で速やかに返血をおこなってください。

- ①電源をOFFにする
- ②静脈ラインを鉗子で閉塞
- ③動脈ラインに生食を接続
- ④気泡クランプから回路を取り外す
- ⑤血液ポンプカバーを開ける
- ⑥鉗子を外し、落差で返血

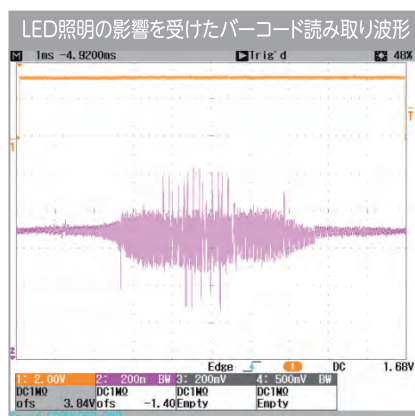
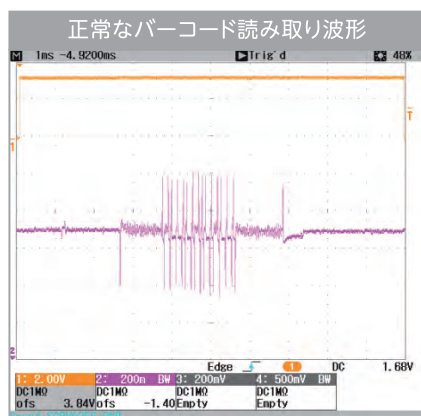
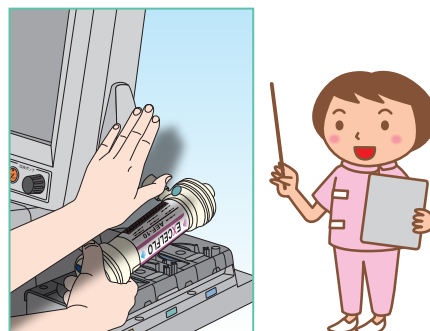


製品バーコードが読み取りにくい【ACH-Σ[®]Plus】

本事象は使用環境にてLED照明を採用している場合に発生する可能性があります。

その時は、読み取りの際、装置側のバーコードリーダ部分を手で覆い、読み取る**バーコード部分に影が出るようにした状態**で読み取りますと能力が改善します。

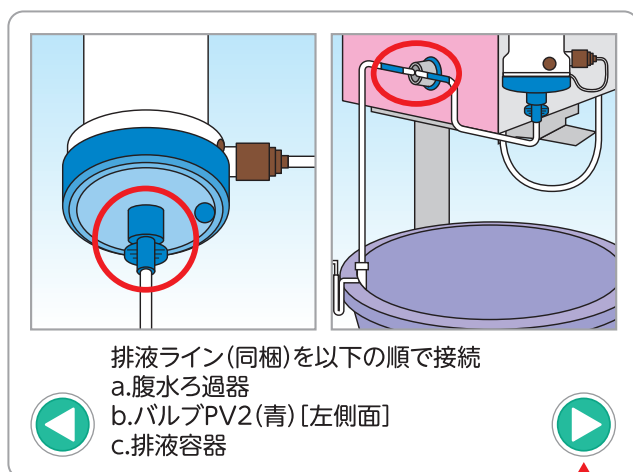
バーコードは下図のように波形で読み取られますが、**LED照明の場合、波長が似ているところ**にあるため、波形の強弱を読み取ることが難しくなるために読み取りが難しい時があります。



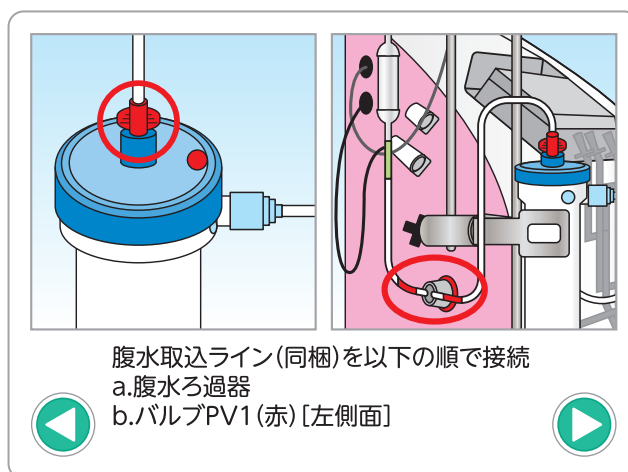
Plasauto[®] μの「リーク検知D警報」について

リーク検知は、腹水ろ過膜の中空糸リークを検出するための工程です。リークを検出するためには中空糸内に液体が充填されている必要があります。

Plasauto μは画面とバルブ動作が連動しているため、**画面の指示に従って取り付け**るようにしてください。また、装置横のバルブ(PV2)に回路を取り付けずにMOW上部のB栓を外すと、中空糸内の液が流れ出てしまい、「リーク検知D」警報が発生することがあります。



押して次の画面に行く時に連動してPV2が閉じます。



お問い合わせ先

旭化成メディカル株式会社

東京都千代田区神田神保町1-105
神保町三井ビルディング 〒101-8101
TEL:03-3296-3723
www.asahikasei-medical.co.jp

2021.7-E-0183